

令和5年度租税教育セミナー

租税教育実践報告

公民としての自覚を深める租税教育

群馬県立高崎女子高等学校 柴崎晴央

報告の内容

- 1 授業実践の概要
- 2 単元の指導と評価の計画
- 3 本時の授業
- 4 まとめ

授業実践を行った科目と単元

1 授業実践の概要

- 科目「公共」（2学年）
- 単元（指導要領上の位置づけ）
 - B 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち
 - （イ）政治参加と公正な世論の形成、地方自治

授業実践のテーマ

1 授業実践の概要

- ・ 主権者教育の一環として租税教育を行う。
- ・ 現代の諸課題を多面的・多角的に考察する学習を通して、**公民としての自覚を深める**ことを主な目標とする。
- ・ 単元の基軸となる問い「国民が政治に参加するのは何のためか？」に照らして、授業ごとに学習を振り返り、単元全体を通じた学びの深まりをメタ認知する。

単元の学習目標

- ・政治参加と公正な世論の形成及び地方自治に関わる**現実社会の事柄や課題を基に**、よりよい社会は、憲法の下、個人が議論に参加し、**意見や利害の対立状況を調整して合意を形成すること**などを通して築かれるものであることについて理解する。（知識及び技能）
- ・法、政治及び経済などの側面を関連させ、自立した主体としての解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて**事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現する**。（思考力、判断力、表現力等）
- ・よりよい社会の実現を視野に、**現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養う**とともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、**公共的な空間に生き国民主権を担う公民として**、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることの大切さについての**自覚などを深める**。（学びに向かう力、人間性等）

単元の指導と評価の計画（1）

2 単元の指導と評価の計画

時間	○ 主な学習内容 ・ 主な学習活動	評価の観点			◇ 指導上の留意点 ◆ 使用教材
		知	思	主	
1	○選挙の意義と課題【今の選挙制度は民意を反映できているのか？】 ・単元の基軸となる問いに回答する。 ・小選挙区制と比例代表制の特徴について考察する。	●	●	●	◇政党ごとの得票率と獲得議席数の関係に着目させる。
2～3	○日本の政党政治【少子化対策の財源としての消費税率引き上げをどう思う？】 ・消費増税とそれに係わる各党の政策の違いを考察する。	●	●	●	◇財政の所得再分配機能に着目させ、消費増税の影響についての考察を踏まえながら政策を比較させる。
4～5	○国会と立法【国会審議を活性化するためにはどうすればよいか？】 ・国会の組織と運営を理解し、国会改革の意義について考察する。	●	●		◇党議拘束や議員立法などに触れながら、国会運営の特徴についての理解を深める。

単元の指導と評価の計画（2）

2 単元の指導と評価の計画

時間	○ 主な学習内容 ・ 主な学習活動	評価の観点			◇ 指導上の留意点 ◆ 使用教材
		知	思	主	
6～7	○内閣と行政の民主化【行政を民主化するとはどういうことか？】 ・内閣の構成と権限を理解し、行政改革の意義について考察する。	●	●		◇行政国家化に伴う様々な課題についての理解を深める。
8～9	○地方自治と住民の福祉【「ふるさと納税」で地方創生は進んだか？】 ・「ふるさと納税」制度がもたらした社会的影響について考察する。	●	●		◇財政の資源配分機能に着目させ、諸資料から、そのメリット・デメリットを読み取らせる。
10	○政治参加と世論形成【国民が政治に参加するのは何のためか？】 ・大衆民主主義の特徴について考察する。 ・単元の基軸となる問いに回答する。	●	● ○	○	◇単元の学習を振り返り、具体的な事象に触れながら回答させる。

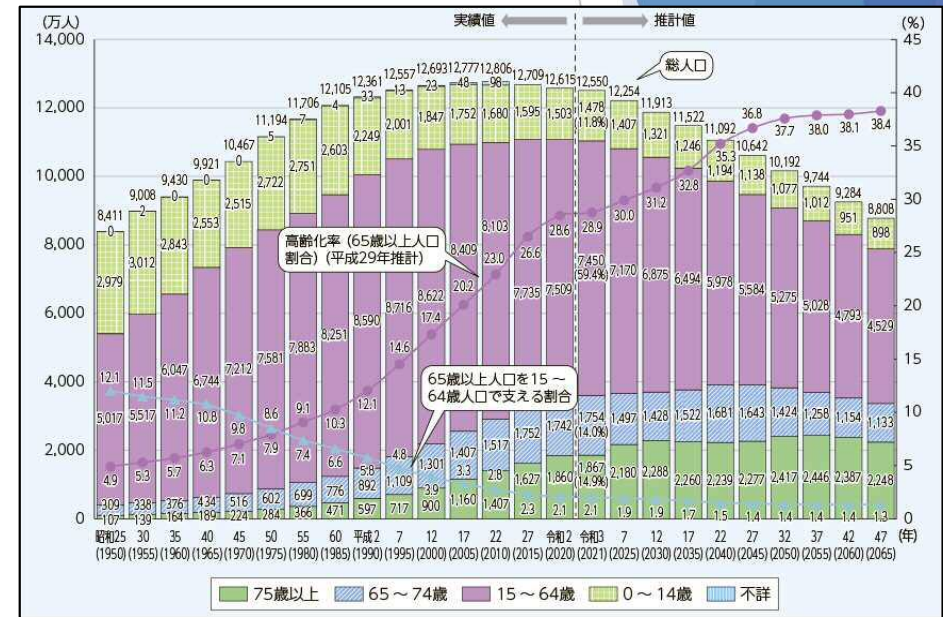
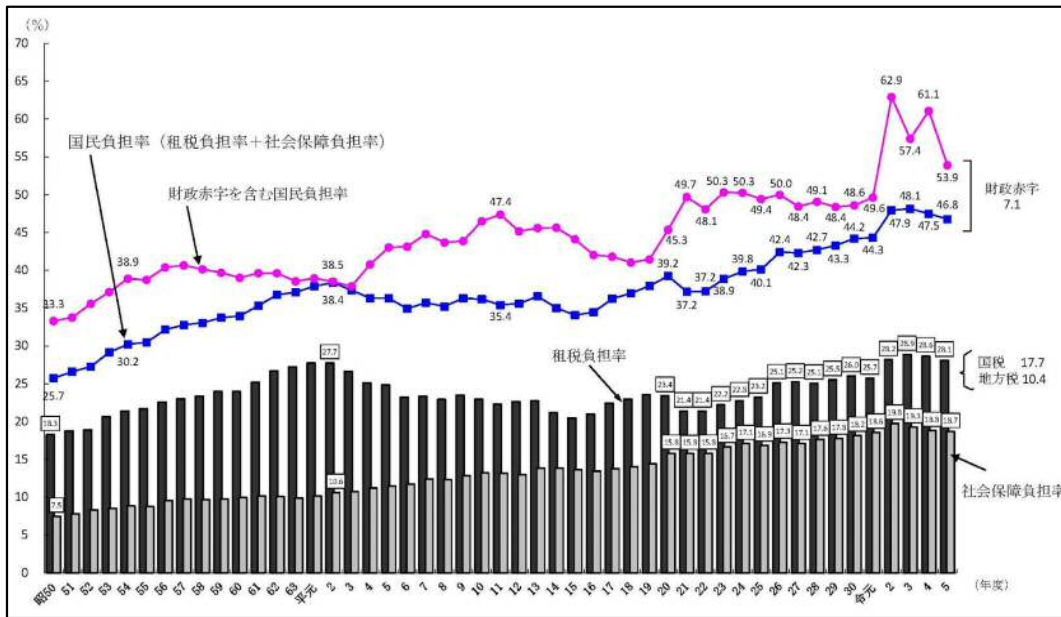
本時の授業展開（2時間目）

3 本時の授業

時間	○学習内容 ・ 学習活動
4分	○学習のねらいと問いの確認 【本時の問い】 少子化対策の財源として消費税率を引き上げることについてどう思う？
8分	○少子化対策と消費税 ・ 少子化対策のための消費税率の引き上げについての新聞記事を要約する。
8分	○消費税と所得税 ・ 資料集を読み、消費税と所得税を財源とすることの利点・欠点を考察する。
5分	○格差社会の現状 ・ 資料を参照し、ローレンツ曲線とジニ係数についての説明を聞く。
25分	○少子高齢化と国民負担のあり方 ・ 6つの資料を分析し（ジグソー法）、本時の問いに対する意見の構想を練る。
5分	○本時の振り返り ・ 単元の基軸となる問いに関わる気づきなどをOPPに入力する。

2 時間目に活用した資料 (1)

3 本時の授業

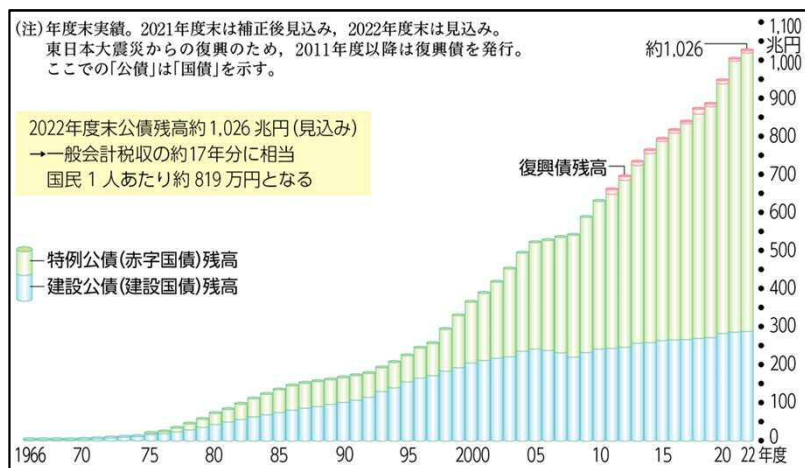


資料 1
 (日本の) 国民負担率の推移
 (出典：総務省「負担率に関する資料」)

資料 2
 高齢化の推移と将来推計
 (出典：内閣府 (2022) 「令和4年版高齢社会白書」)

2 時間目に活用した資料（2）

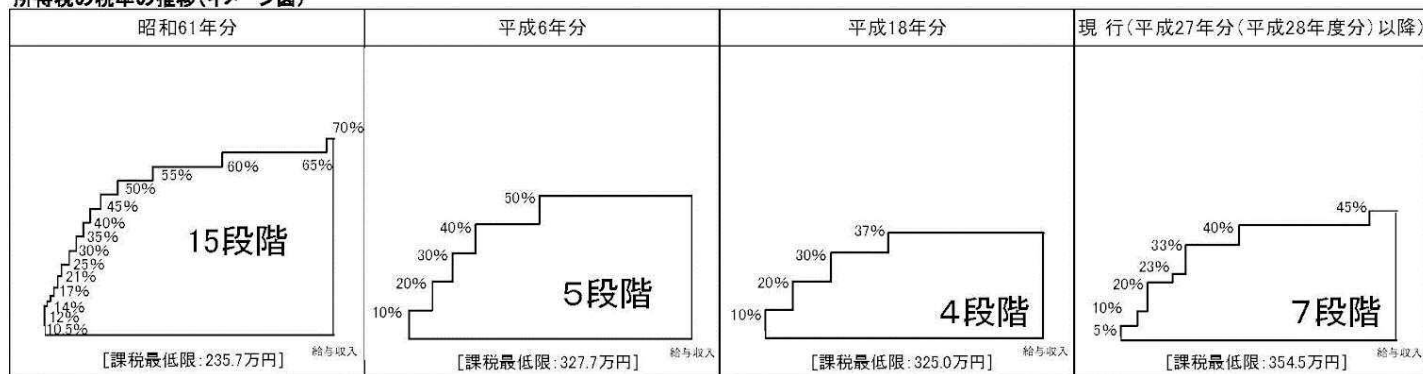
3 本時の授業



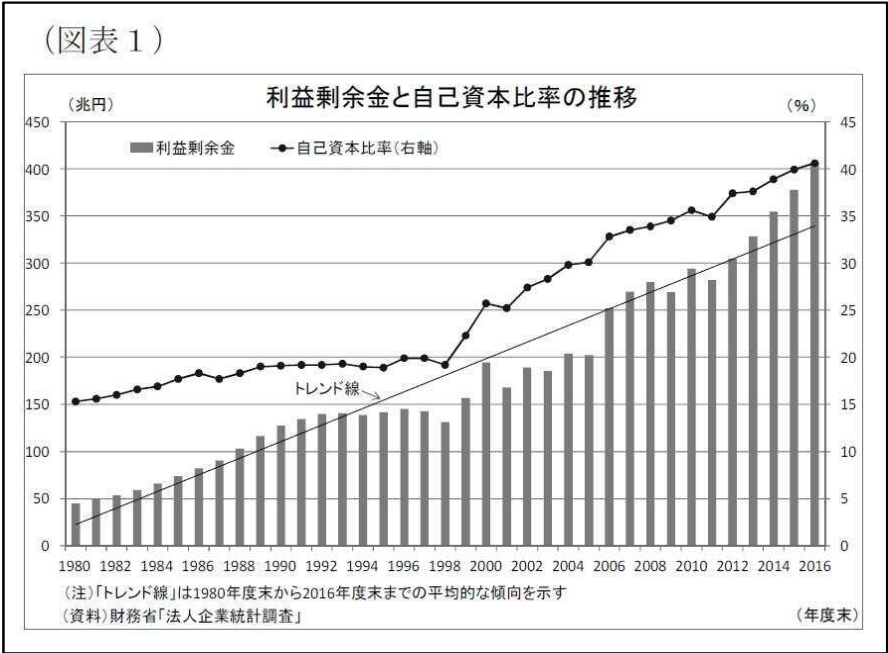
資料3 国債残高の累増
(出典：第一学習社『最新公共資料集2023』)

資料4 所得税の税率の推移
(出典：財務省「税率・税負担等に関する資料」)

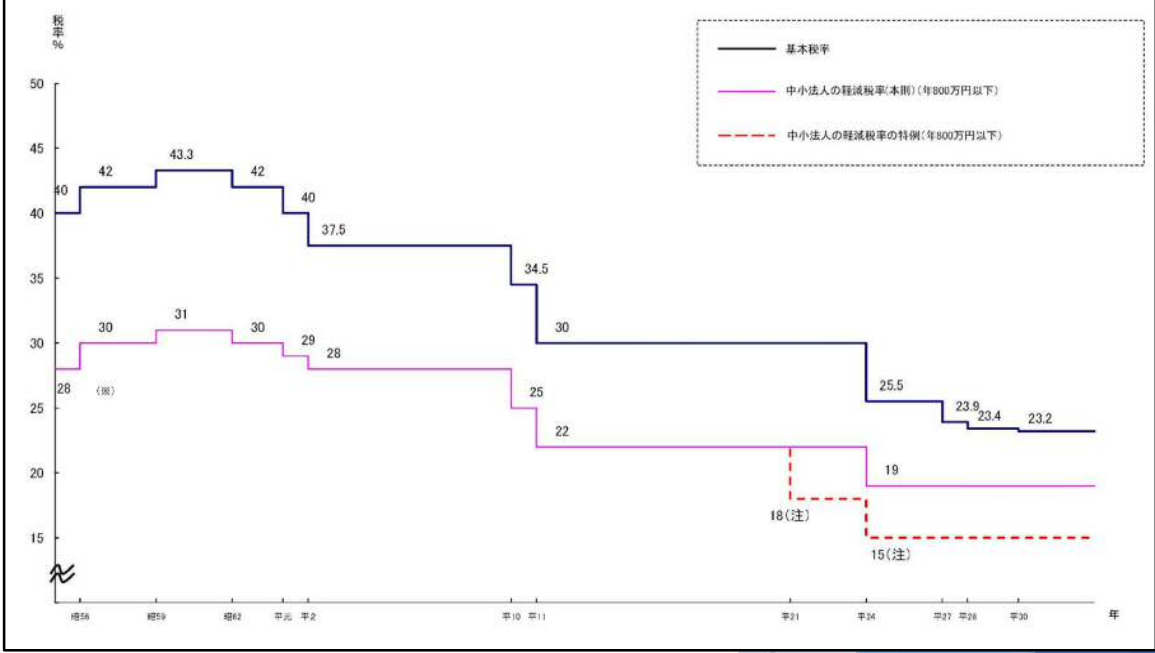
所得税の税率の推移(イメージ図)



2 時間目に活用した資料 (3)



資料5 利益剰余金と自己資本比率の推移
 (出典：ニッセイ基礎研究所「まるわかり”内部留保問題”-内部留保の分析と課題解決に向けた考察-))



資料6 法人税率の推移
 (出典：財務省「法人課税に関する基本的な資料」)

本時の授業展開（3時間目）

3 本時の授業

時間	○学習内容 ・ 学習活動
5分	○本時のねらいと問い、前時までの学習内容の確認 ・ 6つの資料から読み取れることについての説明を聞く。
5分	○少子高齢化と国民負担のあり方 ・ 前時に構想した問いに対する意見をグループごとに共有する。
10分	○所得税と法人税 ・ 資料集を読み、所得税率や法人税率の引き上げることの影響を要約する。
15分	○少子高齢化と国民負担のあり方 ・ これまでの学習内容を振り返り、本時の問いに対する自分の考えを記述する。
15分	○政党とマニフェスト ・ 「マニフェスト比較表」を参照し、自分の考えに最も近い政党を一つ選ぶ。 ・ 「投票先を選択するとき大切なことは何か」を考え、入力する。
5分	○本時の振り返り ・ 単元の基軸となる問いに関わる気づきなどをOPPに入力する。

本時の問いの考察に係わる評価規準

3 本時の授業

思考・判断・表現

「十分満足できる」状況（A）の規準	「おおむね満足できる」状況（B）の規準
<p>（B）の規準に加え、合意形成を視野に入れながら、課題の解決に向けた考え方などについて構想している。</p>	<p>消費税をめぐる課題・論争について、事実を基に多面的・多角的に考察し、論拠をもって自らの考えを表現している。</p>

3 時間目に活用した資料

3 本時の授業

特に注目させる項目は

- ・「経済・財政」
- ・「出産・子育て」
- ・「年金・社会保障」
- ・「消費税増税」

(出典：早稲田大学マニフェスト研究所「2022 参院選 マニフェスト比較表」)

作成・監修
マニフェスト比較表製作委員会
早稲田大学マニフェスト研究所

1 | 2022 | 参院選 マニフェスト比較表

・原則として、マニフェスト本文から、掲載順に最大2点(2点に満たない場合は1点のみ)抽出しています。
 ・文末に(※)印があるものは、マニフェスト本文に記載が無い場合、政策の詳細版から抽出しています。
 ・各政党のマニフェスト等の情報は2022年6月17日時点でウェブサイトから収集できたものを掲載しています。

	自由民主党	立憲民主党	公明党	日本維新の会	国民民主党	日本共産党	れいわ新選組	社会民主党	NHK 党
キャッチフレーズ	決断と実行。日本を守る。未来を創る。	いまこそ生活安全保障が必要です。	日本を、前へ。	6つの改革。そして成長。	給料を上げる。国を守る。	平和でも、くらしでも、希望ももてる日本に	「日本を守る」とは「あなたを守る」ことから始まる	がんこに平和！くらしが一番	
	URL	URL	URL	URL	URL	URL	URL	URL	URL
掲載順位①	毅然とした外交・安全保障で、「日本」を守る	物価高と戦う	経済の成長と雇用・所得の拡大	出産無償化×教育無償化。将来世代への投資を徹底。	「給料が上がら経済」を実現	「力対力」でなく、「外交による平和を」――憲法9条をいかす平和の外交で、東アジアと世界の平和をつくらう	消費税は廃止・インボイス廃止	戦争反対！憲法を活かす政治を	NHK党の功績の周知と NHKスクランブル放送の実現
掲載順位②	強力な機動的な原油高・物価高対策で、「国民の生活と産業」を守る	教育の無償化	誰もが安心して暮らせる社会へ	大胆な減税と景気刺激策による物価対策を速やかに実行。	「積極財政」に転換	物価高騰から生活を守る――弱肉強食の新自由主義を転換して「やさしく強い経済」に――日本共産党の五つの提案	ガソリン税ゼロ	新型コロナウイルス感染症災害からの生活再建	北朝鮮による日本人拉致問題
掲載順位③	徹底した災害対策で、「国民の生命・財産・暮らし」を守る	着実な安全保障	国際社会の平和と安定	コロナを2類から5類へ。	「人づくり」こそ国づくり	日本共産党は、「国民が主人公」の民主主義日本をめざします	季節ごとの10万円給付	格差・貧困の解消	新型コロナウイルス感染症対策
新型コロナウイルス感染症対策	・ワクチン接種の推進、検査能力の拡充なども含めた保健医療体制の強化 ・国産飲み薬などの治療薬や国産ワクチンの確保、将来の危機に備えた司令塔機能の強化	・国が司令塔機能を発揮できるような法改正する ・重症化リスクが高い人などが確実に医療を受けられる「コロナかかりつけ医」制度を創設する	・正確な情報発信と効果的な対策を推進する新たな司令塔機能を創設 ・国産ワクチン・治療薬の迅速な開発・実用化に向けて体制強化	・新型コロナウイルスの分類は5類(インフルエンザ並)とし、濃厚接触者の隔離は撤廃	・無料自宅検査、無料公共検査で家庭内感染と社会的感染を抑制 ・デジタル接種証明書、デジタル健康証明書(仮称)の活用、普及	・高齢者施設、医療機関などへの頻回検査を国の責任で行う ・地域医療の支援強化、感染者や疑いのある人が十分な検査と医療を受けられるようにする	・感染症が拡大する恐れがある場合には災害に指定し、徹底した補償を行う ・感染症と災害の対策司令塔としての防災庁の設置による予算と人員の充実に図る	・病床確保が課題の新型コロナウイルス対策と矛盾する補助金事業の改定と対象436医療機関のリストの撤回を求める	・屋外など感染リスクの低い状況では積極的にマスクを外すよう奨励 ・感染対策を理由とした各種権利の制限については慎重であるよう政府に求める

「投票先を選択するときに必要なことは何か」 に対する生徒の回答

- ・ 税は暮らしと深く関わっているので、政治参加によって自分の意思を反映させることが必要。政党の掲げる目標と自分の意見が合致するかどうか、実現可能な目標かどうかを見極めることが大事。
- ・ 各政党が何を行おうとしているのか、様々な項目を照らし合わせて見ることが大切。また、高齢者や子どもを持つ親など、色々な立場になって考えることや、一時的でなく長期的な視点でその影響を考えることが大切。
- ・ 資料を基にして今日本が抱えている問題を話し合うことで、自分たちの将来を考えるきっかけとなった。同じ資料でも違う視点から見ていたりする人がいるので、このような社会課題について様々な人と議論することが大切。

成果

- ・各政党が掲げているマニフェストの実現可能性や合理性等を、自分の意見に基づいて判断しようとしている。
- ・増税に伴う社会的な影響を多面的・多角的に考察しようとしている。
- ・よりよい社会の構築に向けて、課題を解決しようとしている。

考察

- ・数種類の租税を題材としたことで、現実の社会課題を多面的・多角的に考察し、その特性をより深く理解することができた。
- ・身近な租税を題材としたことや実際のマニフェストを参照したことで、政治参加に対する意識を高め、主権者・公民としての自覚を深めることができた。

令和5年度租税教育セミナー

租税教育実践報告

公民としての自覚を深める租税教育

群馬県立高崎女子高等学校 柴崎晴央